

発光量子収率測定装置

【メーカー】: 浜松ホトニクス

【型式】: Quantaurus-QY

【設置場所】: 理工学部 9 号館 1 階 115 号室

【仕様】

- ・励起光源: キセノンランプ (150 W)
- ・励起波長: 250-850 nm
- ・測定波長範囲: 200-950 nm
- ・積分球サイズ: 3.3 型 (inch)
- ・サンプル光劣化防止シャッタ付き



【機器説明】

発光(蛍光・燐光)材料における発光量子収率(発光強度; 物質が吸収した光子のうち、発光として放出された光子の割合)を測定する装置。マルチチャンネル検出器により取得した分光スペクトルから発光量子収率の絶対値を瞬時に算出。ソフトウェア制御の分光器選択機能により、様々な波長での励起を実現し、量子収率の励起波長依存性や励起スペクトルの解析も可能。ホルダの交換のみで、固体(粉末)及び溶液のいずれにも対応。有機 EL 材料の評価や蛍光プローブの効率測定などの解析に有用なツール。